

平成28年度第1回南あわじ市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成28年4月26日(火)

午後4時00分開会

午後5時05分閉会

2. 場 所 南あわじ市役所 第2別館 第5会議室

3. 協議事項

- (1) 平成28年度主要事業について
- (2) 教育施策の課題等について
- (3) その他

4. 出席又は欠席した構成員氏名

出席構成員

<南あわじ市>

南あわじ市長 中田 勝久

教育長 岡田 昌史

教育長職務代理者 岡 一秀

教育委員 轟 孝博

教育委員 前川 美津子

教育委員 宮崎 典弘

<学校組合>

管理者 中田 勝久(兼務)

教育長 岡田 昌史(兼務)

教育長職務代理者 山下 富弘

教育委員 岡 一秀(兼務)

教育委員 宮崎 典弘(兼務)

教育委員 河上 和慶

5. 事務局関係職氏名

企画部長 北川 真由美

ふるさと創生課長 前川 秀美

教育次長 藤岡 崇文

教育総務課長 山見 嘉啓

学校教育課長 廣地 由幸

社会教育課長 福原 敬二

体育青少年課長 松本 典浩

中央公民館長 永田 加織

教育総務課課長補佐 坂田 真由美

教育総務課係長 新地 美里

開 会 午後4時00分

【藤岡教育次長】 失礼いたします。

定刻になりましたので、只今より、平成28年度第1回南あわじ市総合教育会議を開催いたします。わたくし、本日の進行役を務めさせていただきます南あわじ市教育委員会教育次長の藤岡でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして当会議の主催者であります中田市長より、ごあいさつをお願いいたします。

【中田市長】 大変失礼するのですが、座ったままでご挨拶させていただきたいと思います。

今日は教育委員の先生方には、公私何かとお忙しい中、ご出席賜りまして誠にありがとうございました。季節は春から初夏、こういう移り変わりが感じられる、まさに若葉萌えるといえますか、あちこちで木々が生き生きと、その息吹を満ち溢れております。また、ゴールデンウィークを間近に控えて観光立市である我が南あわじ市も独立したあわじ国として、架空ですが、多くの島外から訪れる方々を自慢の食と文化と景観、そしておもてなしの心でお迎えしようと、市内の観光施設も準備に追われておりまして、活気に溢れているように思います。また、天候が多少不安定なところもございますが、多分連休はいいお天気であろうと願っております。

本日、平成28年度第1回南あわじ市総合教育会議を招集いたしましたところ、公私何かとお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。いつもは南あわじ市の教育に大変ご尽力いただいております。ちょうどこの総合教育会議を開かせていただいてから1年を迎えようとしております。そういうこともありまして、新規事業も含めまして、各教育施策事業が進みまして新年度も予算付けもできておりますし、そういうものを十分によい方向に位置づけていただいたらと思う次第でございます。

大変簡単でございますが、開会にあたってのごあいさつにかえさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【藤岡教育次長】 ありがとうございました。

本日の会議につきましては、進行は事務局で行わせていただきたいと思います。
市長、それでよろしいでしょうか。

【中田市長】 はい、どうぞ。

【藤岡教育次長】 まず本日の出席者の紹介をさせていただきたいと思います。

お手元の資料に本日の出席者名簿を付けていただいております。このたび、教育委

員さん、また事務局職員につきましても少し異動がございましたので、当会議の構成員のご紹介を私の方からさせていただきたいと思っておりますので、申し訳ございませんが紹介された方につきましては、恐れ入りますがその場でご起立をお願いいたします。

(教育次長より出席者を紹介)

【藤岡教育次長】 出席者の紹介につきましては以上のとおりでございます。

会議次第のとおり、本日の協議事項は、「平成28年度主要事業について」、「教育施策の課題等について」の2件でございます。

資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

【藤岡教育次長】 それでは、協議事項の(1)、「平成28年度主要事業について」に入りたいと思います。

お手元の資料の3ページをご覧くださいと思います。

今年度の南あわじ市の一般会計予算総額が261億5千万円。うち教育費が約11%の27億7千万円となっております。大変厳しい財政状況のもと市長の教育に対してのご理解がありまして新規事業も含めて教育委員会から要望させていただきまして新規事業をほとんど認めていただいております。予算総額の約11%を占めておりまして前年比で6%増という大きな予算配分となっております。

お手元の資料につきましては、教育委員会において今年度実施予定の新規事業含めた様々な教育施策事業のうち主な事業について掲載をさせていただいております。順次私の方から概略を説明させていただきたいと思っております。3ページの「平成28年度主要教育事業等について」、概略を説明させていただきます。

平成28年度の予算の主なものでございますが、まず学校教育課所管の事業としまして「知・徳・体」、「知育」「德育」「体育」の3つの新規事業についてご説明をさせていただきます。

まず「知育」としまして、「南あわじ市学力向上プロジェクト」を挙げております。3つの大きな柱立てをしておりまして、まず1つ目としまして、「ゆずりはプロジェクト」。これにつきましては、教職員の資質の向上ということで、今年度7校、うち学校組合1校でございますが、7校の小中学校の授業研究等のための補助金を交付しまして、教員の研修を促して研修成果を他校にも配信し、情報の共有を図ることで教員の資質向上を図る事業でございます。これにつきましては、3年間の事業で全校実施を予定しております。予算額としましては本年度140万円、1校20万円を予定しております。

次に「学習到達度テスト」。4年生、5年生を対象としまして統一的な学力到達度テストを全小学校で実施、また分析することで学力の到達度や課題をさぐり学力向上に努める事業でございます。予算額約60万円を計上しております。

3本目の柱でございますが、「読書の推進」。ことばの力を育む読書活動の推進として学校図書の充実を図るものでございます。予算額約66万円を計上しております。

「徳育」としまして、「南あわじ市いじめ防止プロジェクト」を事業として計上しております。これにつきましては、児童・生徒自身がいじめ問題に自主的に取り組む事業の活動を支援していくということでございます。傍観者にならない取組ということで、小中学校の児童会・生徒会が中心となりまして児童・生徒自身がいじめ問題に関して正しい理解をし、自らいじめ防止対策に主体的に取り組めるように指導、支援を行うものでございます。児童・生徒が考えたいじめ防止啓発活動等に対する経費に対していじめ防止プロジェクト補助金として活動に助成するものでございます。本年度予算額110万円を計上しております。

次に「体育」でございますが、学校給食地場食材利用事業ということで、地元産の食材を学校給食に年5回程度利用しようというものでございます。子どもたちへの食育と自分たちが住んでいる地域の理解を深めることを目的としまして、地場産の食材を利用しました地産地消の給食の取組を進めるものでございます。本年度予算額、薬130万円程度を計上しております。

続きまして、各所管の事業ということで、教育の環境づくりということで、6事業を主な事業として挙げさせていただいております。

まず学校教育課所管で、教育委員会指導主事2人体制であります。これまで1名であった教育委員会学校教育課に配置する学校教育指導主事を、今年度から2人体制にし、小学校、中学校を役割分担することでよりきめ細やかにさまざまな学校現場との事務調整等を行うものでございます。

2項目目としまして、小中学校にICT環境整備、これは教育総務課所管の事業でございます。平成20年・21年度に導入しております情報機器等の更新を行うもので、文部科学省の定める第2期教育振興基本計画の水準を達成させるため全小中学校の約1500台のパソコンの更新やプリンター、プロジェクター等の更新を行いICT環境の充実を図るものでございます。5年間のメンテナンス・リース契約で計画をしております、予算総額5年間で約9億円を予定しております。

3項目目としまして、小学校に空調設備の整備といたしまして、これも教育総務課所管でございます。近年の夏場の猛暑等による学習環境改善を目的としまして、昨年度の中学校6校の空調設備設置工事に引き続き、今年度から小学校にも空調設備を整備するものでございます。今年度は広田・松帆・榎列・福良小学校の4校で設置工事、また29年度に予定しております4校、辰美・八木・市・賀集小学校の設計業務。工事費と設計業務を合せまして約2億3千万を予算計上させていただいております。

続きまして4項目目、「松帆銅鐸保存活用事業」ということで、社会教育課所管の事業でございます。

ご承知のとおり昨年4月に発見されまして大きな話題となっております松帆銅鐸につきまして、調査研究委員会を4月以降に設置する予定でございます。国・県の補助事業、奈良文化財研究所に協力を得ながら発掘調査・分析調査等を引き続き実施するものでございます。併せて銅鐸についての理解を深めてもらうためのフォーラム・市民講座等も併せて実施する予定で、予算額約1千5百万円を計上しております。

5項目目、「サッカー場の調査」、継続事業で、体育青少年課所管の事業でございます。ご承知のとおりプロのサッカー選手が多数活躍し、中学校の部活動でも全国大会や近畿大会に出場するなど競技レベルが確実にあがっているサッカーにつきまして、更なる向上を目指し、サッカー競技団体からも要望の強いサッカー場の建設を進めるため新年度も引き続き建設地及び事業費、規模等の検討調査を行うものでございます。調査経費として、約150万円を計上させていただいております。

最後6項目目でございますが、「学童保育の未設置校区の解消」ということで、体育青少年課所管の事業でございます。小学生で放課後に家庭で保護者の方が看られない児童を対象に、現在市内全16小学校区のうち、11小学校区の施設において学童保育を開設しております。今年度は未開設校区のうち沼島を除きます4校区、湊・辰美・西淡志知・三原志知におきまして、順次指導者の確保などの準備が整ったところから開設する予定で現在準備を進めて行っているところでございます。予算額、約7千7百万円を計上させていただいております。

以上28年度の主要教育事業等につきまして私の方から説明をさせていただきました。どの事業からでも結構でございますので、ご意見、ご質問等がございましたら委員の方からお願いしたいと思います。また質問等につきましては、担当課長がまいっておりますので順次説明させていただきたいというふうにも考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

【岡委員】 この素晴らしい事業を展開していただいて有難い思いを持っております。特に私が目を引いたのは、「読書の推進」ということで、現場にいる時も各学校どこも「朝読」ということをよくされておりました。読書の推進ということで、「ことばの力をつける」というような説明があつたのですが、この読書によって「心を育てる」というような観点からも非常に読書というものは役に立っているように感じています。現場にいる時も思っていたのですが、この図書費にもう少しお金を入れていただいたら有難いな、ということは常々思っていたものでございます。今度、主要事業ということで力を入れていただいているということは、素晴らしいことだと思っております。これが1点です。

もう1つは、南あわじ市内でトラックに「ほんまもん」というようなことばがトラ

ックによく書かれているのを見かけるのですが、子どもたちも「ほんまもん」に触れるということは、非常に将来役に立っていくのではないかと思います。各学校で今まで陸上の選手とか、バレーの選手とか、いろいろ学校へ来ていただいております。あれは非常に素晴らしい事業だと常々関心しておるところです。子どもというのは、「あこがれ」というのが非常に強いですよね、小さい頃は。「ああいうふうになりたい。」という思い。それを持たせるということは、やっぱり「ほんまもん」に触れるということが1番手っ取り早いかなと。子どものあこがれを持たせたら、いろいろ学習とか運動とかに意欲をもたらすのではないかと思います。うらやましいなど常々思っているのは、野球場を持っている市では、阪神タイガースの選手やコーチが来て、いろいろ指導したりしていますよね。ああいうことが身近に見れたら素晴らしいなど。南あわじ市の子どもにも見せてやりたいなどという思いが、いつも新聞を見ながら思っている次第です。ここにサッカー場の調査が引き続きあるのですが、南あわじ市内に素晴らしい施設が何か1つ欲しいなどということは常々思っているところです。施設があれば有名なチームも来るだろうし合宿とかその他の練習とかで来て、子どもが身近に接することができる。「素晴らしいな。僕も(私も)あんなふうになりたいなあ。」という思いが湧いてくるのではないかと思います。サッカー場を何とか素晴らしい施設をできるだけ早く子どもたちのためにも造ってやっていただけたら有難いと思います。

3つ目は、地元校区は学童保育がまだないという校区なのですが、この学童保育未設置校区に力を入れていただくことは素晴らしいと思っております。私の隣の子どもは、放課後になったら遠いところから、おじいちゃん、おばあちゃんが迎えに来て校区外に連れていくのですね。また親が帰ってくるころに連れてきているのですね。この送り迎えをしている姿を隣で見ているので、何とか学童保育の未設置校区を無くすようによろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

他の委員さん方からは、いかがでしょうか。

【前川委員】 この28年度の教育事業を年度末に見せていただいたときに、「本気に取り組んでいるな。」というような1つ1つがワクワクするような事業なのですが、「知・徳・体」といいながら、「知育」「徳育」「体育」にもう1つ「食育」が加わっていると思って、子どもたちの総合的な人格形成に寄与される事業だと思ひました。その概要を理解していただいて、今回の教育関係の予算が諸々関係予算を含めると、昨年度より8.5%増えているということをお聞きして、その辺のご理解とか市のご理解が教育にかける熱意というものが伝わってきて有難いと思ひしております。

具体的に言ひますと、最近耳にしたことばで「教育が整えば人が育ち、人が育てば

町が育つ」ということば、ちょっと心引かれたことばなのですが、やはり「教育は、人が人によって人になる」という人がすべてではあるのですが、やはり教育環境を整えるということは大きな躍進につながると思っています。岡委員からも話があったのですが、諸々のことで図書費を考えてはくださっているのですが、やはり市立図書館の図書をもっと充実していただけたらと思います。学校は図書館に行きまして結構な冊数を貸し出ししてもらえることができるので、図書の刷新になって子どもたちも待ちわびているのですが、やはり社会教育的な立場からも考えて現在の図書館の中身がもっと充実すれば、大人も子どもも幼児も本に関心を寄せて「図書館に連れて行ってみようか。」というところから、「学校の図書室にも足を運んでみよう。」ということになるので、学校図書に併せて市立図書館の充実も更に希望しております。

体育設備のことも言われていたのですが、「食と文化のまち」という中で、文化の面で音楽関係の公演、発表などをするときの音響施設がもう少し充実していただけたら、音に対する敏感さというものを養われるのではないかと思います。舞台上でいろんな伝統芸能を含めて発表する機会が年間にかなり計画されているのですけれど、質のよい音を聞くということは、非常に大事なことだと思うので、音響設備の環境整備をお願いしたいと思います。

諸々の事業の中で、すべて人が行うことなので、人材確保になかなか苦慮しているようなのですが、学童保育にしても、また学校のソーシャルワーカー、市単独教諭などありますが、人を配置してもらって、よりよい素晴らしい人たちが学校現場や子どもたちに関わるところで事業していただくことを願っております。

教育予算の増額、非常に有難いことだと思います。去年は3歳から5歳までの保育料が無料になって本当に子育てしやすい町ということが印象づけられていたのですが、また今年も期待しております。よろしく願いいたします。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

他の委員さん方いかがでしょうか。

【山下委員】 岡委員、前川委員の発言をお聞きしまして、私も同じようなことを考えていたのですが、「読書の推進」についてということでお話させていただきます。

最近気が付けば、子どもだけに限らず大人もスマホをよくいじっていますよね。スマホをしていたら自分で考えることがないですね。調べものがあっても、なんでもスマホで検索していますよね、パソコンと同じようなものですから。考える力を付けるためには、読書というものは必要だと思います。

それから、先程、前川委員から音楽の音響設備の充実について意見がでましたが、私も個人的に賛成です。私の地元は洲本市納地区なのですが、夏祭りに五尺音頭というものをしておりまして、それに私は昨年からは唄っているのですが、それには小学生

も老人会の方々も出てきておりますので、学校の授業の中でそんなものは入ったりしているのでしょうか。

それから松帆銅鐸のレプリカを作っているのでしょうかね。松帆銅鐸に関する講習会なども、どこかでしていただけてらいいのではないかなと思います。

それから、ここに「学校給食地場食材利用事業」というものが出ておりますが、前に研修会か講演会で「弁当の日」というものがありましたよね。ああいうものを南あわじ市でも、自分で食材を買ってきて自分で作るということは、いいのではないかと思います。

以上、私の意見です。

【藤岡教育次長】 今の山下委員の発言の中に質問も少し入っていたように思いますので、「五尺音頭」の関係と「弁当の日」の関係を学校教育課長の方からお願いします。

【廣地学校教育課長】 「五尺音頭」の関係ですが、広田小学校では「五尺踊り」は運動会で披露させていただいております。これは3・4年生全員、且つ郷土クラブを作りまして三味線を地域の方から教えていただきながら活動させていただいております。各市内学校におきまして、伝統文化を学ぶ機会というものを考えていただいております。是非子どもたち、老人会ともにがんばっておりますので、力を貸していただければと思います。

食育の「弁当の日」についてのご意見でしたが、「弁当の日」は、もうすでに取り組んでおりまして、各小学校で「弁当の日」を設定して子どもたちが思い思いのそれぞれの発達段階に応じた弁当を持ってきているというところでございます。引き続き「弁当の日」については今年度も取り組んでいく予定としております。

【藤岡教育次長】 もう1つ松帆銅鐸のレプリカを使った講習会等のことについて、社会教育課長よりお願いします。

【福原社会教育課長】 松帆銅鐸の件ですが、今年度予算を計上しておりましてミニチュアなのですが洲本市が実際歴史資料館の方で実施されているような同じかたちになるのですが、小さい高さが10センチ程度だと思うのですが、銅鐸のミニチュアを作るセットを今年度購入予定をしております。できるだけ子どもさんにフィールドワークということで夏休みに間に合うようにやっていきたいと考えております。ただし、教材費だけはいただく予定で現在準備を進めていっているところでございます。

【藤岡教育次長】 松帆銅鐸のレプリカではないのですが、複製品を使った学校現場での教育なんかも県が現在取り組んでおりまして、併せて取り組んでいきたいと思ってお

ります。

他に委員の方からございませんか。

【轟委員】 ゆずりはプロジェクトですね。教員の資質向上ということに予算をつけてくれたということと、これの教員の資質向上によっては、その下の学習到達度テスト、いじめ。このいじめについては、教員だけでは成立はしないと思うのですが、地域との連携もしないといけないのですが、教員の資質向上によって子どもたちにきちんと指導していく中においては、子どももよくなっていき、学力も向上していく。そうすることによって、いじめもなくなるのではないかとということで、特にこの教員の資質向上を図っていただきたいと思います。そのためには教育委員会が、いかに教員のバックアップをするかということをお頭に置いておかなければならないと思います。何かあればすぐに当事者が、ということが出てきますので、それはすべて教育委員会の方で責任を持って、人事その他を教育委員会の方でしているわけなので、そこは責任を持って教育委員会が主になってやっていただきたいと思います。現場では自由に活発に職員が働けるような場所を作っていくというようなかたちをしていくことによって、子どもたちとのコミュニケーションもできるのではないかと思います。コミュニケーションができれば、勉強もできるし、いじめもなくなるのではないかと思いますので、是非いろんなたくさんの項目がありますけれども、私はこの教員の資質向上というものを念頭に置いておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

他にございませんか。

【宮崎委員】 先程、轟委員からもありましたが、この「いじめ防止プロジェクト」というかたちの部分なのですが、私の地元は広田中学校でして、昨年度PTAの方でいろいろ学校に行くことが多かったのですが、広田中学校におきましては、このプロジェクトの部分で生徒会自体がこういったかたちで活動しているという話を聞きまして、体育館にも横断幕を掲げて活動していることをアピールしてあったのですが、私は、こういうことが不慣れでして、今まで地元の中学校でこういう活動をしているので他の学校もこういった活動をしているものだと思っていたのです。今、ここの28年度の教育事業の一覧にあがっていることを見まして、まだ他の学校はあまり取り組んでいないのかな、というふうに感じました。質問なのですが、今現在南あわじ市の中では、このいじめ防止についての取組状況はどうなっているのかお聞きしたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

【藤岡教育次長】 それでは、学校教育課長からお願いします。

【宮崎委員】 こういうプロジェクトとして活動している学校がどれくらいあるのか教えていただきたいと思います。

【廣地学校教育課長】 いじめ防止につきましては、広田中学校におかれましては、「いじめを決して許さない集団づくり」ということで、モデル実践校ということでも最初生徒会中心にいじめ防止について取り組んでいただきました。平成27年にその実践報告を元に南あわじ市の生徒指導担当者等々に実践報告をしていただいて、それぞれの学校で今度は児童・生徒が中心となった広田中学校を1つのモデルとして、これをそれぞれの学校で活かしていこうということで、そのために南あわじ市としても支援するかたちを取らせていただいたということでございます。いじめ対策につきましては、「いじめ防止基本方針」ができてから、それぞれの学校にいじめ対策の「いじめ対応チーム」というものを各学校で位置づけて、早期発見・未然防止等々に取り組んでおります。南あわじ市としても「南あわじ市いじめ防止基本方針」を定めまして、関係団体が集まっていたいただいた推進会議等も開催しながら取り組んでいるというところでございます。

【藤岡教育次長】 委員の方々からご意見がまだありましたらお願いします。

【河上委員】 学校組合の方の立場から、洲本市の納・鮎屋から児童・生徒が100名前後かと思えますけれども、こんな手厚い環境の中で教育していただいておりますことをまずお礼申し上げます。恥ずかしながら洲本市と比べたら、教育予算が約10億違います。大型事業のハード面がほとんど終わってしまったこともあるのですが、うらやましい限りです。こういった環境のもと、手厚くいろいろやっていただいていることに感謝申し上げます。

私、最近思いますのは、非常に学校が一生懸命に細々と取り組んでいることの情報発信ということについては、遠慮勝ちなのかなといった気がします。打たれるときだけ受け身で打たれてしまうと。轟委員がおっしゃっていましたが、こういったところは、指導主事体制も充実したようでもありますので、現場を支援しながらいかに現場が伸び伸びと活動できるような環境を整えてやるかと。物は十分に揃っております。そういったところを上手にコーディネートしてやることが必要でないかと考えます。それにはこういった市長部局のいろんな部署との常に点検しながら、1つのものいろんな部署が関わって地域の子どもを育てる、将来市を担ってもらう子どもを育てるといった意識を共有することが大事ではないかということを思います。

最近では、地方自治を見ても一律一元に常に合理化、或いは市場原理といっ

たものが導入されておりますけれども、地方は地方である物の強みを活かしながら、この中で掌握する。この視点を逃してはならないのかなと思います。小さな都市化が淡路島の中でも起こっているのですね。東京一極集中とっていますが、淡路の中で私のところの市なんかでも集まる場所が限られてくる。そうではなくて、それぞれその地域で築いてきたものをつないでいく。それには南あわじ市なんかは伝統文化というものをずいぶん大切にしております。その中に子どもたちも入ることによって、「次は私、僕たちの出番だ。」といった気持ちを持たせることが大切ではないかと思います。

非常に潤沢な環境の中で教育してくださっていることに感謝申し上げます。また我々の方も少人数ですけれどもお世話になっております子どもたちの姿をみていましたら、そのものに表れているように思われます。私、いつも広田の登下校の風景を見ていて、ちょっと前はやんちゃな子どももいたのですが、最近は落ち着いているようであります。ありがとうございます。

以上でございます。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

教育委員の皆様方よりいろんなご意見、またご質問にお答えさせていただきました。それでは、教育長からお願いします。

【岡田教育長】 まず28年度の主要事業ということで、今回の新年度予算につきましては、市長の配慮というところで、かなりの予算が措置されております。要はこれがいかに実りのある実行ができるかということにかかってくるのではないかと思います。

先程前川委員から、図書の充実というお話がありました。今年度、図書の充実ということで通常よりプラスして措置しておりますし、先般、国際ソロブチミストが認定を受けて30年という記念の年で、淡路3市に小中学校の子どもたちに本を寄附したいというお話がありました。金額でいいますと50万円相当の小中学生への本を寄附したいということで、小学校、中学校の図書の先生方に、今小中学校にどんな本が必要かということを選んでいただきまして、先般その本をいただいております。ですから通常の図書の充実というところにプラス300数十冊だったか、学校の要望どおりの図書を購入されましたので、これをそれぞれ各学校に巡回しながら皆さんに活用していただいたらと思います。

今年度は特に学力向上について、教育委員会としてももう少しいろんな対策を講じていきたいという思いがありまして、このようなかたちになりました。いかに先生方が指導力があって、子どもたちが楽しい授業で目の輝きが違う、というような取り組みができる必要があるのではないかという思いと、家庭の教育力がややもすると弱いといえますか、子どもに関わる時間がどうしても少ない家庭が増えてきているのではないかと。ですから、しっかりと宿題を100%して翌日学校に行くと。子どもがし

つかりと宿題ができたかという親のチェックを保護者の皆さんの理解を得る方法を考えていきたいし、学校の先生と保護者が連携しながらいけるということが、学力向上をはじめ生活態度との改善にもつながるのではないかと思います。

学童保育につきましては、予算は措置できております。いかに早く準備を整えば開設していきたいと思います。

私からは以上でございます。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

それでは教育委員の皆様よりいろんなご意見が出ました。質問もいただきました。

今年度の主要事業の概要につきまして、市長の方から何かご指示があれば、また先ほど来の委員の方々からのいろんなご意見に対して市長のご意見がございましたらお願いしたいと思います。

【中田市長】 やはりプロの先生方でありまして、皆さん方の発言の内容、的を得ているなど聞かせていただきました。予算面につきましては、教育委員会からこれは是非28年度にやりたい、という強い要望がございまして、私も先ほどらいお話があったとおり、人材育成、これは必要でございます。やはりハード面は行政としては何とか工面できるのでございますが、あとは何人かの先生がおっしゃってられましたが、やはり「ゆずるはプロジェクト」のように教員の資質向上ということに関連してのお話もございました。まさに私もそれに同感でございまして、これから教育委員の先生方、担当部局の更なる取組を願うところでございます。

実は、先日の中学校の卒業式で、終了後教育長には随分とお話を申し上げました。みなさん聞いているかもわかりませんが、ちょうど終わって会場から出てきたら、呼び止められました。「ちょっと市長さん、少しの間話を聞いてくれますか。」というので、「どうぞ。」と言ってお話を聞きました。「私、いろんな学校を回ってきて、つくづく思ったのですが、本当に素晴らしい学校です。設備ははっきり言って県下1だと思えます。」というふうに言ってくれました。「嬉しさいっぱい学校に来るのは嬉しさいっぱいです。」と言ってくれました。これはさっき申し上げたとおりハード面でございます。ソフト面とか、また先生方の資質ということになると、私は教育委員になったことはございませんのでわかりませんが、ちらりちらりと話を聞くところによると、やはり教育委員の先生方のいろんな動向が、やはり学校の先生方の世界では非常に気になることであるそうです。そういうことを過去に聞いたことがございます。そんなことで、教育委員の先生方には教員の適正な資質向上に取り組んでいただければ非常に有難いと思います。

予算は、何回も申し上げたとおり、お金さえどうにかすれば何とかできるものでございます。そういうこと、付け加えて私からの発言にかえさせていただきます。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

今、市長からもご意見をいただいたわけですが、他に今年度の主要事業等につきまして何かご意見等ございませんでしょうか。

【藤岡教育次長】 ないようですので、時間も過ぎておりますので、これで協議事項（１）については終了させていただきます。

続きまして、協議事項（２）教育施策の課題等について、に移りたいと思います。

先程漠然とした議題ということで、というお話もあったのですが、日頃教育委員さんが感じられていることであったり、身近なこと、市全体のことであったり、県や国の最近のニュースでの動向であったり、いろんなことで結構ですので、何かご意見等があれば、意見交換したいと思いますのでご意見等いただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

【岡委員】 非常に多額のお金を使っただいております、小中学校にＩＣＴ環境整備ですが、学校訪問をして活用状況を見させていただいているところなのですが、教育委員会で掴んでいる活用状況について何かあったら教えていただきたいと思います。

もう１つは空調設備なのですが、中学校にはもう整備できていると思うのですが、その反応といいますか、どんな感じなのか、よいというのはわかるのですが、現場の反応を教えていただきたいと思います。

【廣地学校教育課長】 現在はコンピューター室といいものがありまして、今度は小学校ではタブレット型ということで、各教室へ持っていくことができるということなのですが、コンピューター室そのものにつきましては３年生以上は総合的学習なんかで使っていたり、最近では調べ学習でこちらの教室に行って行ったりしております。特別支援学級の生徒にとってもそれらを活用して学習機能のソフトを利用して取り組んだりしていると聞いています。これらのＩＣＴにつきましては、市の研修会ということで、授業におけるＩＣＴの活用について、今年度研修を深めたいと思っております。活用状況については、今、申し上げたようにそれぞれの教科での目標達成のためにコンピューターを使って調べ学習等に使ったり、感想文をワープロで打ったり、総合的な学習の中でコンピューターを利用しているという現状です。

【藤岡教育次長】 空調については、教育総務課長からお願いします。

【山見教育総務課長】 昨年導入していただきました中学校の空調設備ということで、私も２校ほど中学校に行った際に校長先生や教頭先生にお伺いしました。昨年の夏は涼しかったということであまり使用していないようです。９月に入って３回ぐらいです

かね、南淡中学校ですけれども。冬場もこの冬は意外に暖かかったのですが、1月くらいに寒波がやってきて、その時は生徒が喜んでいと聞きました。私も娘が昨年度は中学3年生ということで本人にも聞いて、喜んでおりました。しかし、電気の使用量の関係もあって、ちょっと抑えているようなことも現場から聞きました。

以上です。

【藤岡教育次長】 よろしいでしょうか。

【岡委員】 ありがとうございます。

【藤岡教育次長】 他にございませんか。

【轟委員】 教育環境づくりのところで、サッカー場の調査を継続するとありますが、市議会の方から質問があつて調査というかたちになっておつたと思うのですが、南あわじ市ではサッカーだけではなくて陸上競技なんかでも、野球もそうですが、かなりりっぱな成績を修めている子どもたちがいます。今、淡路で公認陸上競技場が洲本市陸上競技場しかないという状態です。それもオールウェザーではなくて土の第4種か5種。今3種になればオールウェザーでないと公認競技場にはなれない状態で、南あわじ市の子どもたちも先日のリレーカーニバルに行って準決勝で走ったりしております。幅跳びで出場したりもしております。子どもたち自身が同じ土俵で戦えるというのは公認競技場があつて初めて記録が公認されるわけで、健康広場のグラウンドでいくら世界記録のような走りをしたところで所詮参考記録と。本当に戦える状態でないので、これは広域でないとできないと思うのですが、何とか公認の競技場ができたらと。ちょうど洲本市の教育長さんもおられますので、手をあげてほしいなど。南あわじ市に1つ、元気の森に広い敷地がありますので、5種・6種でもいいので、サッカー場を中にとって、あとのトラックを陸上競技で取れば十分いけるのではないかと思うので、それは要望しておこうかと思つたので、どうかよろしく願いいたします。

【藤岡教育次長】 他、何かございませんでしょうか。

市長から何かございませんでしょうか。

【中田市長】 直接私からどうこうということではないのですが、通学路の防犯灯で学校の先生方の組合から要望がございまして、その場所を選定してできるだけその整備をするようにと。今からの防犯灯の整備は、LEDにし、南あわじ市の防犯灯を全部LEDに変えていこうとしております。

それから、これはすでに何箇所か付けておりますが、防犯カメラも結構な台数を付

けていこうということで、必要な場所の選定をして今取り組んでおります。これは県の方の支援もございますので、1つでも必要な場所に付けていこうということで、すでにこれも進んでおります。また先生方の方で「あのへん、ちょっと危ないぞ。」という場所がありましたら言っていただいたらと思います。また、これは確かに抑止力に私はなる面もあると思います。結構いろいろな犯罪が起きてからでは遅いので、犯罪が起きた後、犯人の検挙にかなり大きな役割を持っておりますので、これも積極的に進めております。設置場所につきましては、それぞれの地域を知っている方々からご検討いただくことにしております。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

それでは、いろんなご意見をいただいたわけなのですが、他にご意見がなければこの辺で(2)教育施策の課題等については、閉めさせていただこうと思いますがよろしいでしょうか。まだまだいろんな課題等があるわけでございますが、今後は本日出された意見等も含めまして、また参考に教育委員会でより具体的な方向づけを行ってまいりたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

貴重なご意見、本当にありがとうございました。

それでは、次に協議事項(3)その他に移らせていただきます。

その他で何かございましたらお願ひしたいと思ひます。

ないようでしたら、次回の総合教育会議の開催についてでございますが、臨時的な案件がなければ10月下旬頃若しくは11月上旬頃に日程調整をさせていただきますと予定させていただきますと思ひますが、市長それでよろしいでしょうか。

【中田市長】 はい、それで結構です。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

それではこれで本日の協議を終了させていただきたいと思ひます。

中田市長から閉会のご挨拶をお願いします。

【中田市長】 今日は、平成28年度第1回南あわじ市総合教育会議を開かせていただきましたところ、委員の先生方から大変貴重なご意見を数多くいただきまして誠にありがとうございました。

何度もくどいようでございますが、私は以前から「町づくりというものは、人づくり」と思っております。そういう意味におきましても子育て、教育は、大変大事なことであると感じている一人であります。

28年度はいろいろと予算付けは、教育委員会の要望に応じて、と申し上げましたが、必ずしも今後どのようなかたちになるかどうか非常に不安定さがございます。で

きるだけ私のおる間は、子どもたちへの教育には取り組んでいきたい。しかし、この予算についてはすぐに結果がでにくい。そういうような教育予算というものはあるわけございまして、学校現場でもいろいろと委員の先生方からご指導よろしくお願ひします。

どうぞ今後とも子どもたちの健やかな成長を願ひ、その教育振興にご精励をお願ひ申し上げまして会議を閉じたいと思います。

今日は、ありがとうございました。

閉 会 午後5時05分